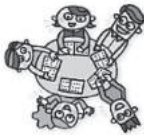


6月は男女平等月間 標語・川柳 大募集!

男女平等への意識は高まってはいるものの、まだまだだと思えるところも多いのが現状です。ひとりひとりの意識向上、組織や行政の意識向上により、より一層「男女平等参画社会」に向けた運動が必要であると感じています。そこで、6月の男女平等月間に合わせ、意識の向上活動の一環として「標語・川柳」を募集中心!みなさんの思いを標語・川柳にのせてください。



今年の優秀作品……オトコマエ 昔イケメン 今イクメン
身につけよう 定時で帰る 仕事術
なでしこを 活かす社会に 笑顔咲く

募集要項

募集期間: 5月30日(金)まで

募集内容: 「男女平等」「女性参画」「均等待遇」「ワーク・ライフ・バランス」「格差是正」「ハラスメント」等を題材としたもの

応募方法: 連合滋賀へFAX・MAIL、または、構成組織・単組支部を通じてお送りください。

Fax: 077-523-5600 Mail: info@shiga.jtuc-rengo.jp

選考: 男女平等推進委員会および女性・青年委員会にて審査のうえ、最優秀作品1点、優秀作品2点を決定。優秀作品には、粗品を進呈いたします。

その他: ご応募いただいた作品は、連合滋賀の活動に使用させていただきます。

アジア・アフリカ支援米運動 田植えボランティア募集

県内で作付けされなくなった土地や減反田を活用して、お米を作り、飢餓で苦しむ人々を援助する運動を続けています。この取り組みを通じて水田農業の持つ多面的な機能を見直すほか、食料自給率の向上などを訴えます。

また、子どもたちには、初夏の日差しのなか、ひんやりとした土の感触を楽しみながら、泥だらけになって田植えを行うことにより、食のありがたさを感じてもらえればと思っています。

日時 5月17日(土) 13時から(15時頃まで)
雨天の場合は中止(小雨決行)
場所 大津市仰木5丁目大倉5603
(JRおごと温泉駅から車で15分)
作業内容 約4アールの田んぼに苗を手植えします。
(汚れてもよい服装でお越しください。
長靴等のご用意をお願いします。)



昨年の田植えの様子

アジア・アフリカ支援米 滋賀県実行委員会事務局
大津市打出浜3-49 TEL: 077-522-7154

開催決定! 第24回 びわ湖クリーンフィッシング大会 今年は県内6会場!



日程: 5月31日(土) AM8時~11時
会場: 大津: 県立琵琶湖ホール西側
・なぎさ公園打出の森
守山: 木の浜・琵琶湖レークサイド
ゴルフコース前(琵琶湖側)
近江八幡: 長命寺港 (AM9時~12時)
彦根: 彦根港
長浜: 奥びわスポーツの森
高島: しんあさひ風車村前

- ・ルアー釣り、エサ釣りなど釣りは自由
- ・時間内に持参されたブルーギル・ブラックバスの総重量で順位を競います。
- ・各会場、上位表彰あり!
- ・貸竿やエサも無料で準備しています。
(ただし数に限りがあります)

琵琶湖の環境保全と生態系保護を
目的としています。

詳しくは、連合滋賀HP・Facebookでご確認
願います。



連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2014年4月30日
連合滋賀 第251号
大津市松本2丁目10-6
電話077-523-0500
発行・山田 清
編集・上田 薫
(定価 1部6円)
印刷 ユメディア株式会社

「障がい者雇用の促進」に各界のトップが語る 「雇用推進行労使会議 チャレンジしが」を開催

「雇用推進行労使会議チャレンジしが」を3月28日(金)、知事公館ゲストルームにおいて開催し、滋賀県、滋賀労働局、連合滋賀、(一社)滋賀経済産業協会の行労使4者によって、「滋賀県雇用推進プラン」に掲げる重点施策について意見交換を行いました。

雇用推進行労使会議では、2011年度から2014年度までの4年間を計画期間として策定した「チャレンジしが 滋賀県雇用推進プラン」のうち、「障がい者がいきいきと働くことができる環境整備」を中心に「若年者の自立に向けた就労支援の推進」、「就業を希望する女性に対する支援」の3年間の数値目標の進捗状況を確認しました。

特に、2013年度に取り組んだ「障がい者の雇用」では、法定雇用率2.0%を達成するための取り組みや障がい者の就職支援等について意見交換を行いました。

野田律滋賀労働局長からは、「企業数の多い製造業、300人以上規模の企業での法定雇用率未達成が課題。地方公共団体でも7機関が未達成である。就職については、新規求職申込件数は増加しているが、就職率も昨年比を上回った実績になった。今後は、早期離職を防ぐ定着指導が重要である。」

嘉田由紀子滋賀県知事からは、「特別支援学校での進路指導、就労支援など本人や保護者の願いにこたえるべく「キャリア教育総合推進会議」の活動をさらに充実していく。」

坂口康一滋賀経産協会会長は、「県や労働局が実施されているセミナーや就職説明会への企業の参画について、さらに広報協力をしていきたい。」

連合滋賀山田清会長からは、「障がい者にふさわしい職場や仕事を広く開拓することが重要であり、特例子会社の制度活用などについて労働組合にも働きかけ、労使で障がい者雇用に熱意を持って取り組めるよう喚起した



嘉田 滋賀県知事



山田 連合滋賀会長



坂口 経産協会長



野田 滋賀労働局長

い。」とそれぞれの立場で、障がい者雇用に関わりの取り組みが報告されました。

また、2014年度の重点施策についても意見交換がされ、「安心して働くことができる職場環境の整備」のうち「仕事と子育てが両立できる職場環境や多様な働き方の実現」を重点施策とし、4者が協力して取り組んでいくことが決定されました。

連合滋賀は、雇用のミスマッチ、若年・高齢者・障がい者・女性の雇用環境もまだまだ厳しい状況であることから、地域課題に即した雇用施策に取り組めるように行労使の連携を強化していきます。

労働者保護ルールを揺るがす政策が「着々と」進んでいる

その一つは、労働者派遣法の改正法案である。改正法案では、業務区分による期間制限の考え方が撤廃される。派遣先にとっては「安上がりで使い勝手のよい派遣労働者」を確保するための改正と言わざるを得ない。

そして、労働時間制度の議論が行われている。

裁量労働制の見直しなどのほか、「一部の事務職、研究職等に適した労働時間制度」の必要性や在り方が論点に掲げられている。規制改革会議では、「労働時間の量的上限規制」「休日・休暇取得に向けた強制的取り組み」「一律の労働時間管理がなじまない労働者に適合した労働時間制度の創設」の三位一体による「労働時間の新たな適用除外制度の創設」が提起されている。

また、産業競争力会議でも、「長時間労働の抑制によ

る労働者の健康確保の徹底」「休日・休暇取得によるワーク・ライフ・バランスの促進」「労働者の処遇確保を図りつつ、業務遂行について裁量をもって働く労働者が創造性を発揮できるような弾力的な労働時間制度の構築」を三位一体で進めることが提起されている。

政府は、6月頃に改定される成長戦略に「弾力的な労働時間制度」を盛り込もうとしている。5月に入ると、政府内での検討が急ピッチで進むことも予想される。本質的な議論を置き去りにして残業代不払いの合法化を進めるようなことがないように国民みんなで監視していかなければならない。

連合滋賀は、5月27日に開催する「労働者保護ルール改悪阻止」の集会を通じ、県民にアピールし断固阻止する。

働くことを軸とする安心社会の実現 第85回滋賀県労働者統一メーデー 県内4会場に5,300名が結集

連合滋賀と滋賀県労働者福祉協議会は、「あなたのため わたしのため みんなのため「力合わせよう!心つながよう!」」をメインスローガンに、第85回滋賀県労働者統一メーデーを開催しました。

メーデー中央集会は、4月26日、竜王町ドラゴンハットで、子どもたちや家族連れなど組合員約1,900人が参加し開催されました。

式典では、開催地である第4区地区メーデー実行委員会の前田佐敏実行委員長と中央集会の主催者を代表して、連合滋賀の山田清会長が開会挨拶を行いました。また、嘉田由紀子滋賀県知事、谷畑英吾湖南市長、竹山秀雄竜王町長、三日月大造民主党滋賀県連代表、小坂淑子社民党滋賀県連代表、林久美子参議院議員、大井豊連合滋賀議員団会長をはじめ、友誼団体、事業団体から多くの来賓の方々にご臨席いただき、各界の代表からそれぞれの立場でご挨拶をいただきました。

その後、メーデースローガン・メーデー宣言、労働者保護ルールの改悪に断固反対する特別決議の採択を行いガンバロウ三唱で式典を終えました。

また、式典終了後は、第2部として、東日本大震災復興支援バザー・親子でのづくり・模擬店、抽選会等が



行われ、多くの組合員や市民の方で賑わいました。メーデー地区集会は、膳所公園と米原文化産業交流会館、栗東芸術文化会館さきざらでそれぞれの地域の趣向を凝らした集いが開催され、県内4会場で5,300名が結集しました。



第85回 滋賀県労働者統一メーデー 宣言

本日、私たちは第85回滋賀県労働者統一メーデーを開催しました。

東日本大震災からすでに3年が経過したが、震災は多くの犠牲者を出したばかりか、今もなお多くの被災者が不自由な生活を強いられている。私たちは、被災地の復興・再生を引き続き全力で支えていくとともに、震災を決して風化させないよう、被災地はもとより、全国の仲間と連携した取り組みを継続・強化していく。

私たちは、「人への投資」を経営に求める。そして、これに逆行する労働者保護ルールの改悪に反対し、働く人に十分報いる社会を経営に求める。格差の拡大と固定化は、社会の不安定化につながる。非正規雇用で働く仲間が雇労働者の約4割を占め、年取200万円以下で暮らす人々が1,000万人を超える社会構造にメスを入れて、格差のない社会の実現に全力をつくそう。そのために、あらゆる職場で、労働組合の社会的意義を積極的にアピールし、一人でも多くの仲間を増やしていく取り組みが必要である。労働組合の社会性が今、問われている。

第2次世界大戦後も、世界各地で自由と平和を脅かす状況が続き、地域紛争やテロもあとを絶たない。私たちは、いかなる国に対しても、これを許さず、平和の構築に向けて、力をつ

くし行動していく。さらに、核兵器の人道的影響は絶大で、核兵器は禁止されるべきである。核兵器の全廃をめざし、いかなる努力も惜しむことなく、核兵器を違法化し、廃絶しよう!1年後、2015年4月の核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議を契機に、核兵器のない世界を実現しよう!世界では、労働者の基本的権利など人権の侵害や、労働組合活動家への厳しい弾圧と迫害が依然として後を絶たない。私たちは、国際労働組合総連合(ITUC)や諸外国の労働組合と連帯し、自由と世界の恒久平和、そして、すべての人のディーセント・ワーク実現のために、格差を是正し貧困の撲滅をめざす。メーデーは労働者の国際連帯の日である。連合結成25年を迎えて開催する本メーデー集会は、力を合わせ、心をつなげて、重要課題に対してすべての働く仲間が結集し、「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」をめざし、NGO・NPOや志を同じくする仲間との連携で、「働くことを軸とする安心社会」を実現することを、今、ここに宣言する。

2014年4月26日
第85回滋賀県労働者統一メーデー

「おうみ少年少女合唱団」に新入団員5名!!

地域の文化活動を支援することを目的に結成した「おうみ少年少女合唱団」の2014年度の入団式が、4月12日(土)大津市の逢坂市民センターにて行われ、新年度の活動がスタートしました。

今年には新入団員5名(リトルクラス1名)が新たに加わり、本団31名、リトルクラス6名となりました。「おうみ少年少女合唱団」では単に歌うだけでなく音楽を通して自己表現をできるように、また、異年齢がチームワークよく良い音楽を作り出していよう子どもたちを指導しています。入団式の最後には、先輩からの新入団生への温かい歓迎の言葉で和やかな雰囲気でもてなされました。

合唱団の主な活動としては、滋賀県や大津市の合唱祭への出演、夏休みには老人福祉施設へ訪問し、おじいさんやおばあさんへ歌声を届けています。

その後は、1年間の集大成である定期演奏会に向け



て合宿練習も行い、12月23日(祝)の本番に向けて練習します。みんな一生懸命、楽しく活動をしていきます。

越前大野市の森・水保全、富山市公共交通「ライトレール」を視察 連合滋賀議員団会議研修・交流会

4月15日(火)～16日(水)の二日間、連合滋賀議員団21名が参加し、福井県大野市と富山県富山市において、研修・交流会を実施しました。

初日は国の「水循環基本法」の成立のきっかけとなり、モデル地区にも選定された大野市を訪ね、先進的な水循環の取り組みを学びました。近畿の水がめの琵琶湖を抱える滋賀県としても大いに参考になりました。特に、湧水が生活の一部として位置づけ、地域全体で湧水を自らが守るという姿勢には敬服させられました。

二日目の富山市では、市民の重要な移動手段となっている「ライトレール」を視察させていただきました。先に成立した「交通基本法」の基本スタンスである「人にも環境にもやさしい」交通網の整備がされており、まさにコンパクトシティをめざした街づくりそのものの交通政策が展開されていました。

特に、高齢者の外出機会を増やし、健康寿命を向上させる取り組みや、花束を市内で購入すれば割安運賃を適



森富山市長(上)



富山ライトレール(左)



「越前おおの環境基本計画」を学習(福井県大野市)

用するなど、ユニークなアイデアを生かした、「ライトレール」を核とした総合政策が推進されていました。また、森雅志富山市長からは、「市街地の拡散を防ぐこと」「一つの事業が複数の効果をもたらすことを認識すること」「部局を超えた複数の取り組みが一つの事業効果を高めること」など参考になるお話を伺いました。

今回の研修の成果を今後の議会活動や政策提言に活かしていくことを参加者全員が確認し、研修を終えました。(連合滋賀議員団会議幹事長 江畑弥八郎)